株式市場のパフォーマンスと2026年の将来予測

中間選挙に向けた「Run Hot」政策は、米国の株式市場に強力な追い風となっています。S&P 500は、2025年4月の関税導入に伴う一時的な急落から急速に回復し、2026年2月現在、再び史上最高値を更新する勢いを見せています。



Liberation Dayショックからの回復

2025年4月の関税導入により、S&P 500は約20%下落する「Liberation Dayショック」を経験しました。しかし、その後の急速な回復により、市場は底堅さを示しています。

2026年2月現在、S&P 500は6,500~7,000のレンジで推移しており、底堅い企業業績がこの回復を支えています。EPS成長率は15.5%増と予想され、投資家の信頼を取り戻しつつあります。

市場の回復力

一時的な急落から史上最高値更新へ向けた力強い反発を見せています。

ウォール街の強気な予測

主要な投資銀行は、2026年末までのS&P 500のターゲットを大幅に引き上げています。インフレの沈静化とAIによる生産性向上を背景に、楽観的な見通しが広がっています。

JPモルガン

ターゲット: 8,200

インフレの沈静化とAIによる生産性向上を背景としたFRBの大幅な利下げを織り込んでいます。

エバーコア / モルガン・スタンレー

ターゲット: 9,000(強気シナリオ)

貿易政策の不透明性が解消され、AIハードウェア・ソフトウェアの需要が情報技術セクターの利益成長を牽引すると予測しています。



投資資金のローテーション

これまでの「マグニフィセント・セブン」への集中から、中小型株や非テック・セクターへのローテーションが始まっています。小型株指数は2025年4月の安値から約50%上昇しており、経済成長の恩恵がより幅広い企業に波及している兆候が見られます。

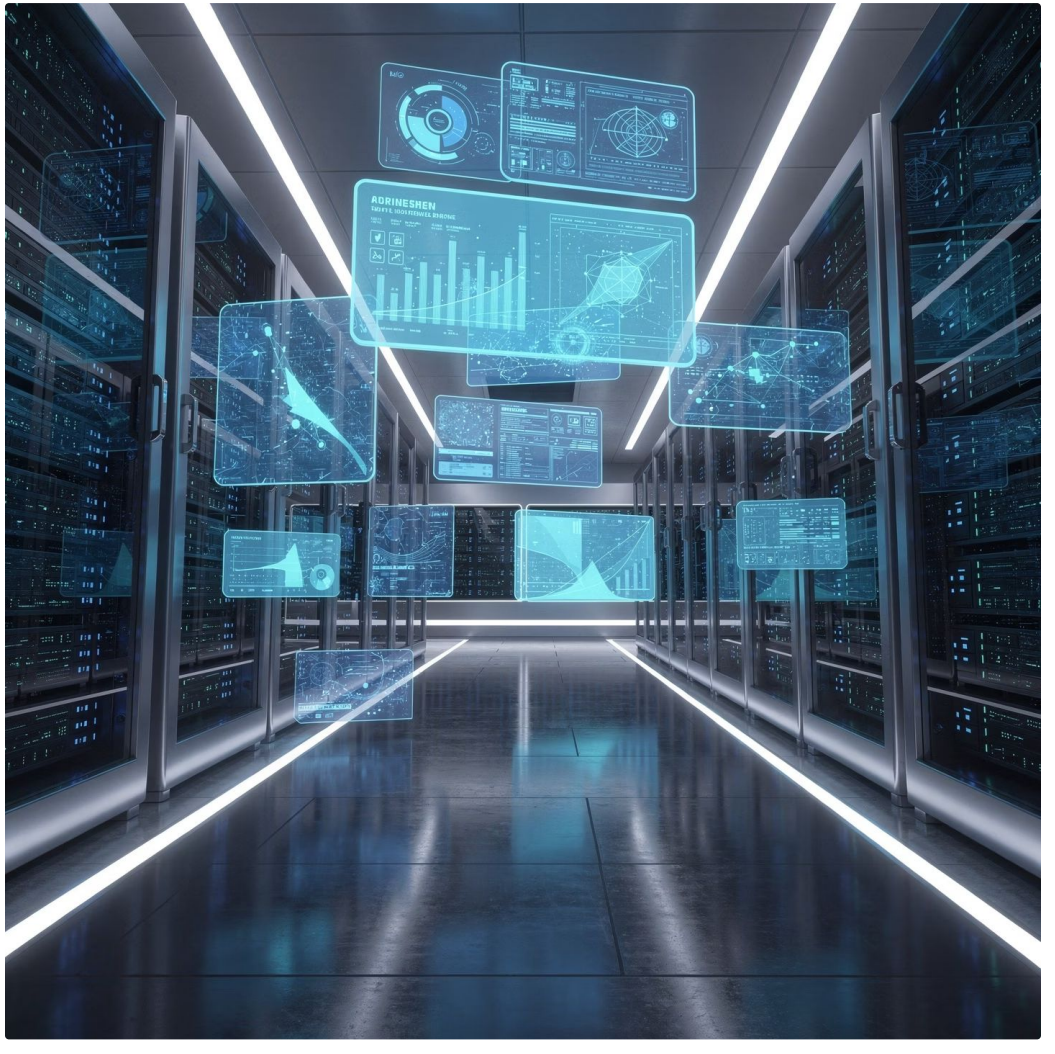
この動きは、減税策「One Big Beautiful Bill Act (OBBA)」による還付金増加や設備投資インセンティブ、AIによる生産性向上を背景とした利下げ期待が、広範な企業収益を押し上げているためです。

情報技術セクターの成長

AIが牽引する利益成長

情報技術セクターは、AIハードウェア・ソフトウェアの需要により、前年比30.4%増という驚異的な利益成長を記録する見込みです。

貿易政策の不透明性が解消されることで、さらなる投資が期待されています。



注目の中小型株(1/2)

1	**Gold.com (GOLD)** 貴金属・コレクター品プラットフォーム。分散投資需要で高い成長率(予想EPS 62.9%増)を記録しています。
2	**Betterware de Mexico (BWMX)** 堅実な利益成長と低PE(7.37倍)が魅力。メキシコを拠点とする直接販売のリーダーです。
3	**MasterCraft Boat (MCFT)** 景気回復によるレジャー需要の恩恵。EPS成長率64%超の予測が出ています。
4	**Limbach Holdings (LMB)** 病院や大学向けインフラ。設備投資需要の拡大により魅力的な投資対象となっています。
5	**Alight (ALIT)** 人事クラウドサービス。債務削減とマージン改善が進むバリュー銘柄。配当利回り5.6%です。

注目の中小型株(2/2)



Forum Energy Technologies (FET)

製造・掘削需要の回復により、次年度のEPS成長率予測が約199%と驚異的な数値を示しています。



Adecoagro (AGRO)

農業・バイオ燃料大手。商品価格の安定と生産性向上が利益を牽引しています。



RBC Bearings (ROLL)

高精密ベアリング製造。航空宇宙・産業向け需要が堅調な高確信成長株です。



BWX Technologies (BWXT)

原子力インフラ。AIデータセンター向けのクリーンエネルギー需要が追い風となっています。



XPO (XPO)

物流サービス。LTL(小口混載便)のリーダーで、製造業回帰(レショアリング)の恩恵を受けています。



OBBAによる投資環境の変化

トランプ政権の「高圧経済(Run Hot)」戦略が、これらの銘柄に共通する背景となっています。特にOBBA(One Big Beautiful Bill Act)による100%ボーナス減価償却の復活は、資本集約型産業の税引き後コストを実質的に約21%低下させています。

製造業、エネルギー、建設といった資本集約型産業が、この政策の最大の受益者となっています。

税還付による消費拡大

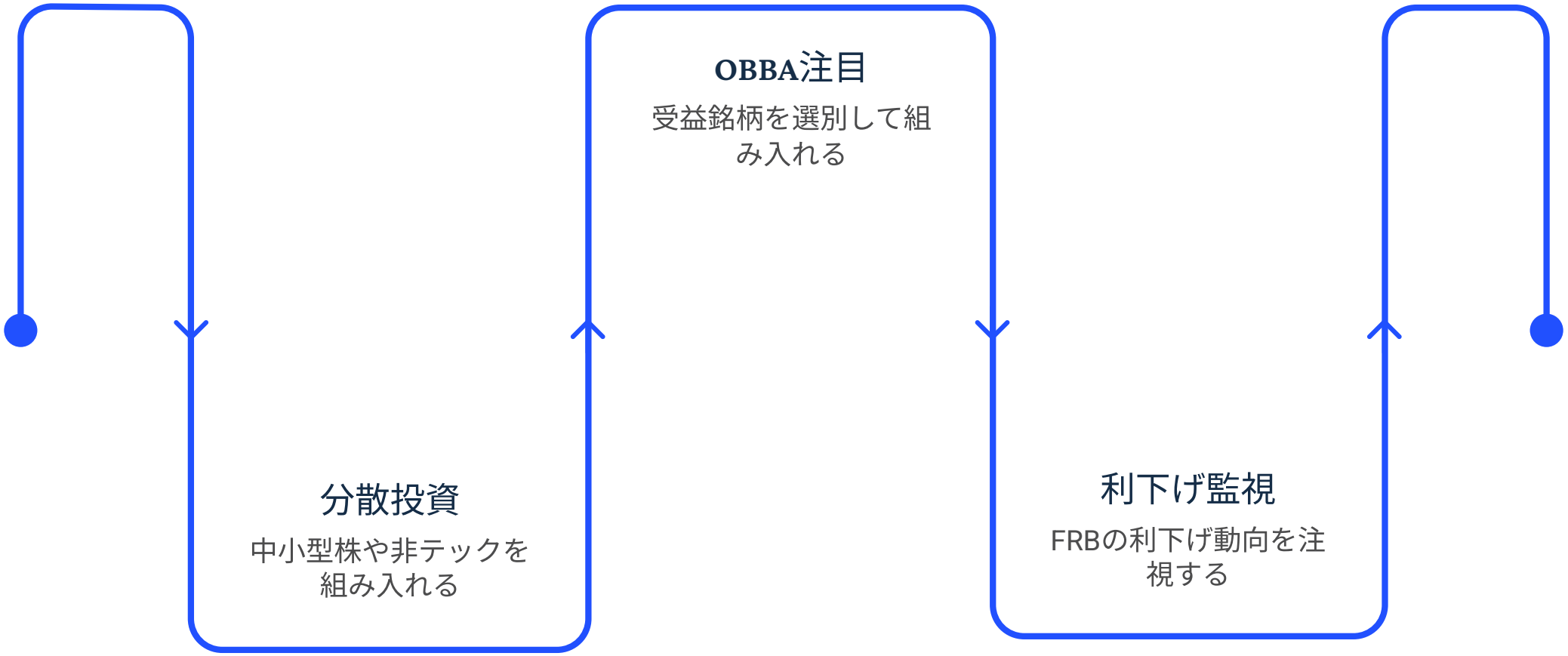
過去最大級の税還付

2026年2月から4月にかけてピークを迎える税還付は前年比44%増となります。

この大規模な税還付は、中低所得層の購買力を支え、MasterCraftやCostcoといった消費者関連銘柄の強力な下支えとなると予測されています。

消費の拡大は、小売、レジャー、サービス業など幅広いセクターに恩恵をもたらすと期待されています。

2026年の投資戦略



2026年の投資環境は、大型テック株から中小型株・非テック・セクターへのローテーションが鮮明になっています。OBBA受益銘柄への注目、AIによる生産性向上を背景とした利下げ期待、そして広範な企業収益の改善が、投資機会を拡大しています。

分散投資と長期的な視点を持ちながら、これらの成長機会を捉えることが重要です。